



暦の上ではもう春です！



2月3日は節分でした。豆まきをして心の鬼は追い払いましたか？私は、なまけ鬼を追い払ったつもりでしたが、まだその鬼は心の中に潜んでいるようです。2月3日だけでなく、鬼を追い払う闘いを毎日行わないといけないようですね。負けそうです。

さて、「節分」は本来一年に4回あったと言われていました。これは、2月の全校朝会で子供たちにも話しました。日本には四季があり、一年を通して春夏秋冬と季節が巡っていきます。それぞれの季節の始まりの日を立春・立夏・立秋・立冬と言い、それぞれの前日は「季節が変わる節目」ということで「節分」と呼ばれるようになりました。

その4回ある節分の中で、立春の前日だけが「節分」として残っているのは、旧暦では現在の立春を境に新年が始まるとされており、その節目を大切にしてきたことが関係していると言われていました。立春は現在の大晦日のように特別な日とされていて、新年を迎えるにあたり厄払いのために前日に豆をまいたそうです。その風習が今も残っているのでしょう。

昔の人は、季節の移り変わりに心を寄せていたのでしょうかねえ。とてもステキだと思います。毎日バタバタと過ごしている現代の私たちも、季節の変わり目にふっと心を寄せられる余裕を持ちたいものですね。



17日(土)は学習発表会です。

いよいよ、学習発表会が今週の土曜日に迫ってきました。子供たちは一年間の集大成として、お家の方や地域の方に自分達の成長を見てもらおうと一生懸命に練習をしています。人に見られる中、舞台上立って表現をするという経験はあまりありません。ですから、きっと緊張すると思います。でも、その緊張に負けず、日頃の力を発揮してほしいと思います。自分が成長できる良いチャンスと捉え、前向きに取り組んでもらえるととても嬉しいです。

練習風景を見に行っていますが、発達段階での成長を見ることができ、子供たちの成長ってすごいなと感心してしまいます。1年生と6年生の写真を載せていますが、体の大きさや顔つきがこんなに変わるものかと、改めて痛感します。可愛らしさで勝負できる1年生、たくましさで力強さで表現できる6年生。リハーサルでお互いの姿を見た時、「こんなに小さかったんだ。」と自分の1年生の頃を思い出す6年生と、「6年生はカッコいいなあ。」と憧れる1年生の姿が目に見えます。お互いを見合うのはいいことですね。

きっと、どの学年も本番は最高の表現をしてくれると思います。お忙しいとは思いますが、あたたかいご声援をよろしくお願ひします。

